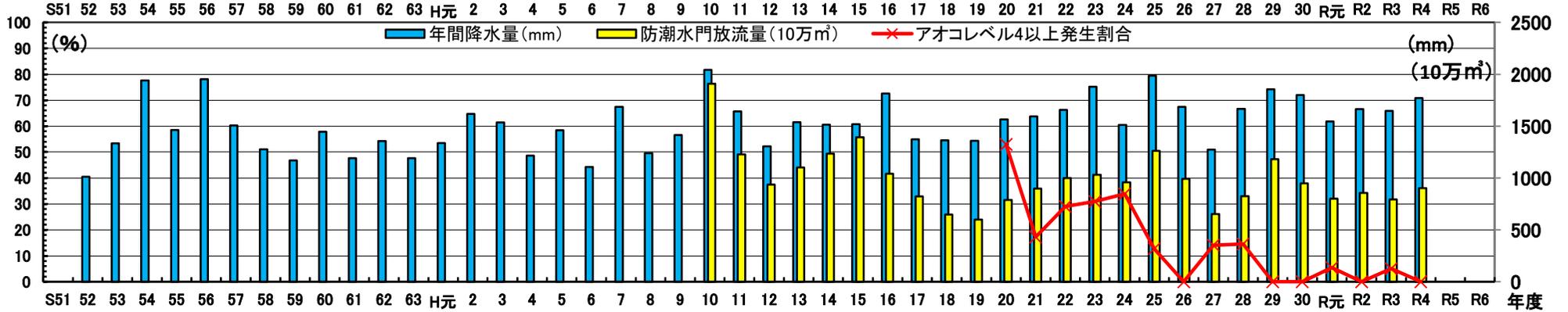
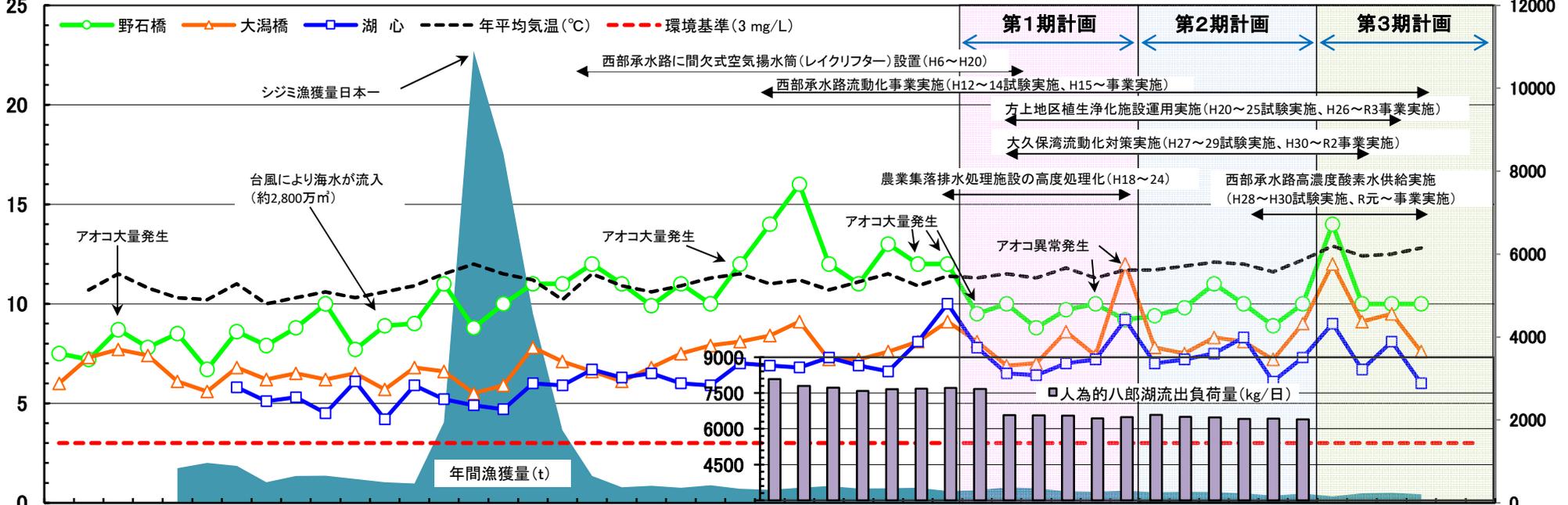


(mg/L)・(°C)

# 八郎湖のCOD(全層平均の75%値)推移と関連データ

(t)

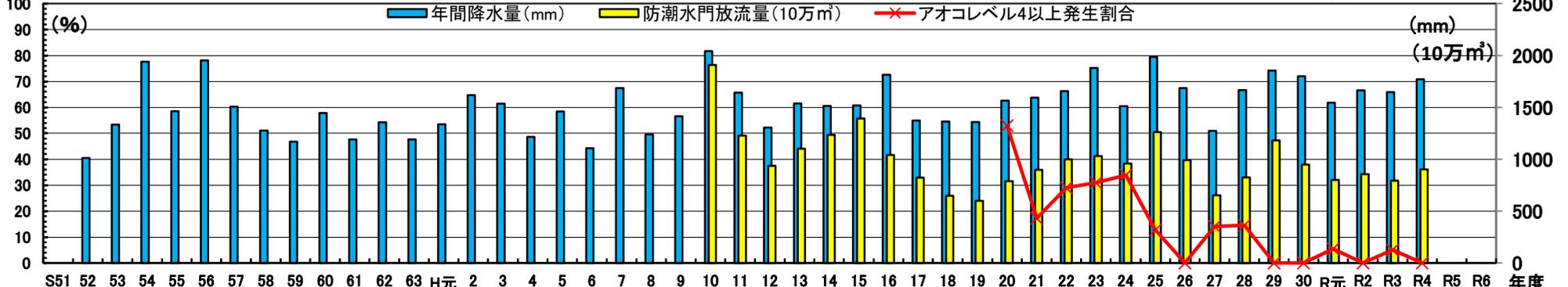
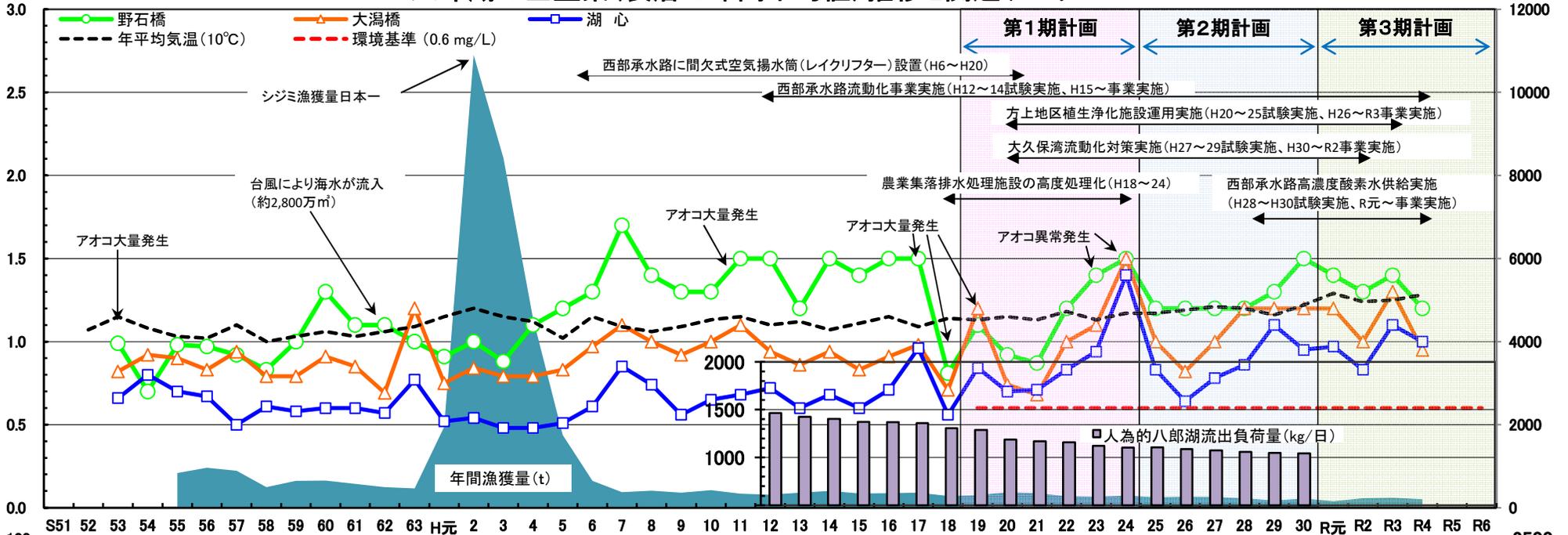


※1: 年平均気温はアメダス大湯観測所のデータを使用し、年間降水量はアメダス大湯、五城目観測所の平均値を使用した。  
 ※2: 防潮水門放流量は、八郎湖基幹施設管理事務所よりデータを収集した。  
 ※3: 漁獲量は秋田県農林水産業累年統計表及び八郎湖増殖漁業組合からの聴取を参照した。  
 ※4: 人為的八郎湖流出負荷量とは、流出負荷量から自然系と市街地系を除いた部分(生活系、工場・事業場系、農地系の合計)であり、H20年度より始まった水田の落水管理により、約800kg/日の負荷削減が図られている。  
 ※5: アオコ発生状況について、H21年度以前は大量発生という言葉を使用していたが、H22年度に異常発生の条件が定義づけられたため、それ以降は異常発生という言葉を使用している。

(mg/L)・(10°C)

# 八郎湖の全窒素(表層の年間平均値)推移と関連データ

(t)

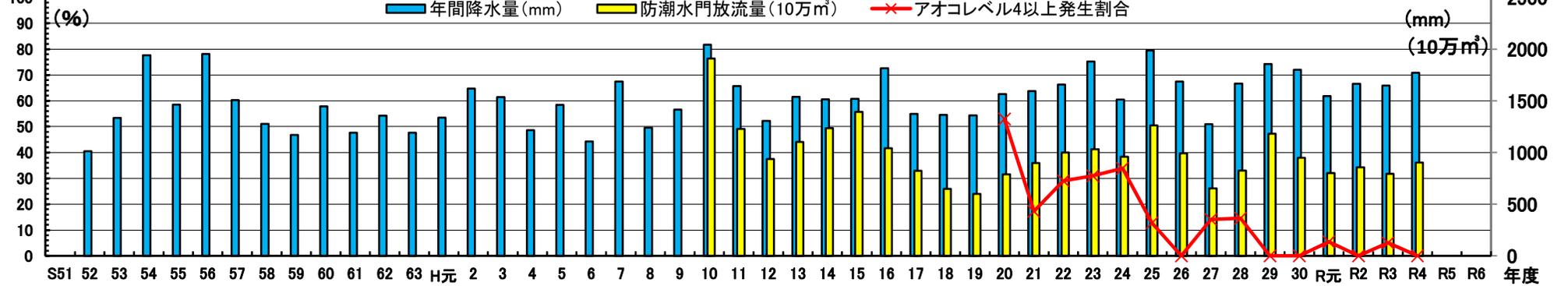
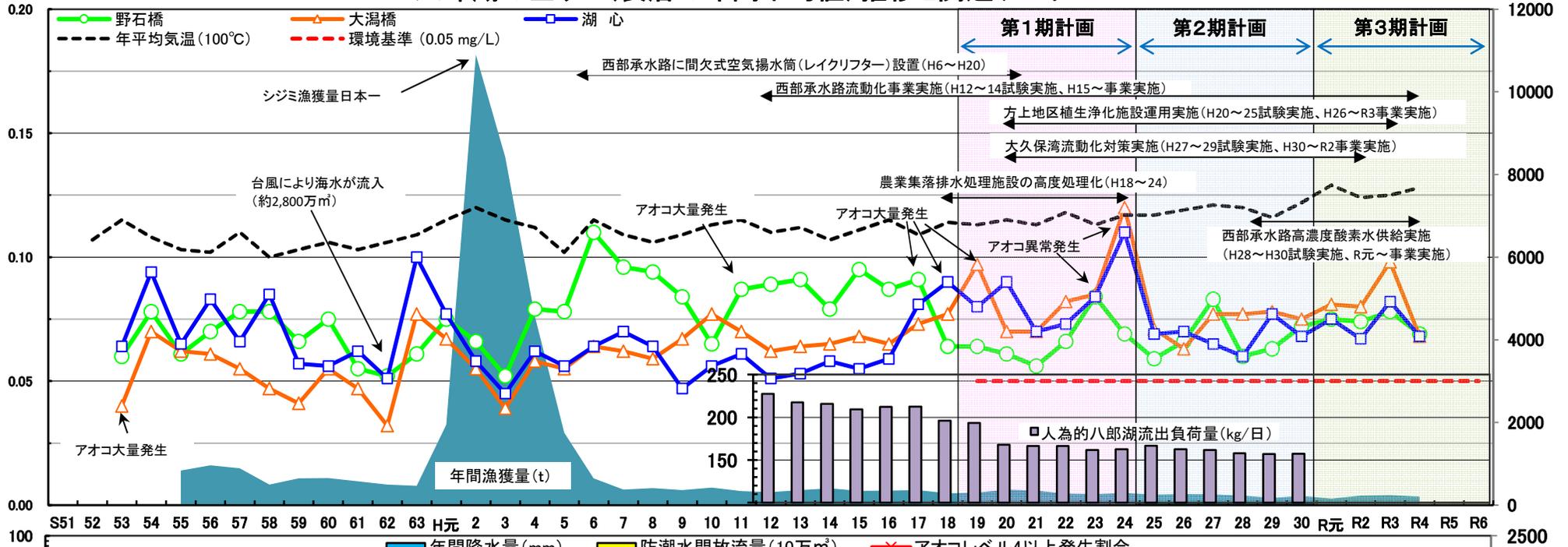


※1: 年平均気温はアメダス大潟観測所のデータを使用し、年間降水量はアメダス大潟、五城目観測所の平均値を使用した。  
 ※2: 防潮水門放流量は、八郎潟基幹施設管理事務所よりデータを収集した。  
 ※3: 漁獲量は秋田県農林水産業累年統計表及び八郎湖増殖漁業組合からの聴取を参照した。  
 ※4: 人為的八郎湖流出負荷量とは、流出負荷量から自然系と市街地系を除いた部分(生活系、工場・事業場系、農地系の合計)であり、H20年度より始まった水田の落水管理により、約70kg/日の負荷削減が図られている。  
 ※5: アオコ発生状況について、H21年度以前は大量発生という言葉を使用していたが、H22年度に異常発生の条件が定義づけられたため、それ以降は異常発生という言葉を使用している。

(mg/L)・(100°C)

# 八郎湖の全りん(表層の年間平均値)推移と関連データ

(t)



※1: 年平均気温はアメダス大潟観測所のデータを使用し、年間降水量はアメダス大潟、五城目観測所の平均値を使用した。  
 ※2: 防潮水門放流量は、八郎潟基幹施設管理事務所よりデータを収集した。  
 ※3: 漁獲量は秋田県農林水産業累年統計表及び八郎湖増殖漁業組合からの聴取を参照した。  
 ※4: 人為的八郎湖流出負荷量とは、流出負荷量から自然系と市街地系を除いた部分(生活系、工場・事業場系、農地系の合計)であり、H20年度より始まった水田の落水管理により、約16kg/日の負荷削減が図られている。  
 ※5: アオコ発生状況について、H21年度以前は大量発生という言葉を使用していたが、H22年度に異常発生の条件が定義づけられたため、それ以降は異常発生という言葉を使用している。